



笠原体制二期目スタート

理事は七人が交代

同窓会報 第39号
 平成17年8月1日
 (社)上田高等学校同窓会
 〒386-0024 上田市大手1-9-8
 TEL/FAX 0268-22-3146
 ホームページ <http://www.ueda.ne.jp/~uhd/>
 発行人 笠原一洋
 (発行部数26,000部)
 印刷所 (株)上田ワードプロセス企画

今年役員改選の年。七人の理事が退任し、新しく七人が理事に選ばれました。

新しい理事会で、理事長に笠原一洋氏(53期)を再選、副理事長に、丸山正一(56期)、西田不折(57期)、小山正子(57期)の三氏を選出しました。

丸山・小山両氏は再選、西田氏は和田前副理事長と交代

平成17年度 会員大会(総会)のご案内

★期日 **9月24日(土)**

会場 **上田東急イン** 国際クリスタルホール
 上田市天神4-24-1
 TEL 0268-24-1401
 上田駅温泉口(千曲川側)から歩いて2分

受付 15:00 ~
 開会 15:40 ~
 オープニング・アトラクション
 議事

懇親会 17:30 ~
 会費 5,000円

(社)上田高等学校同窓会

で就任しました。

笠原理事長は新理事会体制で四月一日、二期目のスタートを切りました。

三部会担当理事は次のとおり。

△総務部会

丸山正一 副理事長
 岡崎光雄氏(新任54期)、村居正雄氏(新任59期)、関陸夫氏(61期)、島田甲子雄氏(65期)、土屋華氏(66期)
 △事業運営部会
 西田不折 副理事長
 宮島光男氏(新任55期)、瀬



活動を見直しながら

理事長 笠原一洋

全国的にも数少ない法人格を持つ上田高校同窓会の歴史と伝統を汚さないよう新代議

川豊秀氏(60期)、竹内信夫氏(新任62期)、平野仁一氏(新任64期)、丸山はる代氏(新任65期)、藤井信一郎氏(71期)、森浩二氏(73期)
 △広報部会
 小山正子 副理事長
 深町稔氏(58期)、塩入秀敏氏(63期)、柿崎規一氏(70期)、甲田英俊氏(新任72期)
 また、監事は飯島康典氏(67期)と小林好子氏(新任68期)、羽田富雄氏(新任69期)です。

員、理事の皆さんと、前期に引き続き会の発展のため力を尽くしていきたいと思えます。

先輩各位の時代を先取りした変革への努力と、環境の変化への対応によって、今日があると思えます。私は不易流行、臨機応変に対応して行く所存です。

幸い定款をはじめ各種懸案事項が整備されました。

各地区同窓会もますます活発に活動、同窓会を支えて頂いております。各委員も初心に帰り諸活動を常に見直し、目的達成のため鋭意努力し前進させたいと願っております。

お堀 ばた

母校のお堀で、青い鳥が水面すれすれを飛んだのを見たという話を聞いた。直線的な飛び方から期待も込めてカワセミだろうと思う。都心の皇居でも生息が確認されているのだから、この辺にいても不思議ではない。瑠璃色をしたきれいでどこか漫画的なこの鳥は、一度見た人に強烈な印象を与える。以前は千曲川や産川で普通に見ることができたが、水質の悪化や環境の変化ですっかり見ることができなくなった。岩鼻のチョウゲンボウや太郎山のオオルリ、ベニマシコなどの姿を見ることができたのは、今や昔の話となっていました。

軽井沢の野鳥の森、戸隠奥社辺りでも近年野鳥の数、種類が急激に減少している。鳥見好きの中では、レイチエル・カーソンの「沈黙の春」とよく例えられる。反面、昨年佐久市で十九年ぶりに営巣が確認されたヤツガシラが、今年は塩田でも確認されたと報道があった。自然界の変化は人間の思惑とは違い、脆さと逞しさを持っている。仕事における日々だが、せめて初夏にはカッコウの鳴き声を聞き、夜空を眺める程度の余裕を持ちたい。「センス・オブ・ワンダー」の感覚を忘れないでいたいものである。



紙面案内

- P2 代議員会報告
- P3 支部だより 受章者
- P4 《カラー》 ふるさとだより
- P5 《カラー》 学友林の契約期間満了
- P6 母校の班活動紹介
- P7 同期会だより OB会つうしん
- P8 《カラー》 個人情報取り扱いについて

17年度代議員会開く

320人(委任状含む)が参集

同窓会費の口座振替を推進 丸山副理事長が説明

平成十七年度代議員会は五月二十八日上田高校同窓会館に代議員三百二十人(委任状含む)が参集して開かれました。

十六年度の事業・決算報告に続いて、十七年度の事業計画(案)・予算(案)が審議され承認されました。また、十七年度会員大会を九月二十四日(土)上田東急インで開催することが決まりました。

代議員から、十六年度の住宅用地・書籍頒布の特別会計について質問があり、笠原理事長が経緯を含め説明しました。

十七年度事業については、担当副理事長が説明しました。この中で、丸山総務担当副理事長は定款変更に伴う諸規程の一部改訂と字句の訂正、同窓会費の

口座振替を推進したい旨説明しました。

事業運営担当の西田副理事長は、例年母校で行う社会講座について各期から講師の推薦をお願いしたいと要請しました。

また、広報担当の小山副理事長は、「古城の門」編集委員会は今まで独立していたが、広報部の一つの委員会とし、理事もかわっていくと説明。その他ホームページ委員会・図書資料委員会も充実させていくとしました。

事務局からは、個人情報取り扱いについてお願いが述べられました。(八ページ参照)

各議案について活発な討議が行われ、すべて大きな拍手で承認されました。

代議員会報告

笠原理事長 卒業五十年の同窓会の席上、同窓会費納入者が半分にもならないと話したら、何をやっているのかと問われ事業の説明をした。良いことをやっている。それなら納めようと言ってくれた。良い事業をやれば同窓会も活発になる。良い事業の提案をしてほしい。

来年再来年と良い事業を展開したい。

日野校長(来賓) 物心両面

と言うが、人までご支援頂いた。社会講座で聞く話のことばの一つひとつが刺激になる。今年もお願いしたい。進学のことでは、国立大学に現役で百三十人が合格した。いわゆる難関校については不満も残る。今年には昨年以上を期待している。

【一般会計】

16年度決算額・17年度予算額(要約)

●収入の部 (単位:円)		
科 目	16年度決算額	17年度予算額
会費・入会金		
新入生入会金	3,900,000	3,920,000
年会費	7,502,328	7,000,000
その他 計	2,471,000	2,050,000
事業収入		
会報広告収入	600,000	600,000
維持負担金	1,694,200	1,700,000
その他科目 計	122,882	75,000
前年度繰越金	36,837,776	2,633,734
合 計	53,128,186	17,978,734
●支出の部 (単位:円)		
科 目	16年度決算額	17年度予算額
事業費		
会報関係費	2,538,635	3,000,000
その他 計	2,598,542	2,920,100
管理費		
人件費関係 計	4,464,000	4,464,000
会議費関係 計	2,789,398	2,700,000
通信費	594,178	600,000
その他 計	37,509,699	3,168,000
予備費	0	1,126,634
合 計	50,494,452	17,978,734
16年度収支差額	2,633,734	(17年度へ繰越)

平成16年度「同窓会年会費」期別拠出額一覧表

拠出人数 3,401人 総合計拠出額 7,502,328円

期	人数	金額	期	人数	金額	期	人数	金額	期	人数	金額
25以前	11	9,500	44-4	55	107,000	64	82	165,000	84	31	60,000
26	3	4,000	45	10	19,000	65	80	163,000	85	20	43,000
27	5	5,000	46	56	110,000	66	57	106,000	86	19	38,000
28	8	16,000	47	62	128,500	67	51	89,000	87	22	44,000
29	7	15,000	48	89	185,000	68	60	116,378	88	18	40,000
30	3	4,000	49	100	202,500	69	54	102,000	89	20	40,000
31	9	25,000	50	130	284,000	70	68	139,000	90	28	56,000
32	9	17,000	51	108	232,000	71	35	93,000	91	20	40,000
33	16	43,000	52	97	245,500	72	40	77,000	92	22	44,000
34	18	63,000	53	122	302,000	73	46	104,000	93	13	26,000
35	20	47,000	54	80	147,000	74	51	99,000	94	24	48,000
36	15	45,000	55	88	207,000	75	65	127,000	95	11	24,000
37	21	68,000	56	92	239,000	76	52	141,000	96	18	38,000
38	24	95,450	57	98	217,500	77	33	61,000	97	13	26,000
39	28	121,500	58	96	247,000	78	47	91,000	98	13	26,000
40	37	102,000	59	92	186,500	79	25	41,000	99	10	20,000
41	37	109,000	60	87	207,500	80	37	66,000	100	18	36,000
42	42	139,500	61	77	145,000	81	22	43,000	101	14	28,000
43	47	104,500	62	55	132,000	82	34	79,000	102	24	48,000
44-5	68	136,500	63	59	121,000	83	23	40,000			

85期は元気です。

支部だより

母校の室内楽班演奏会

〈関東同窓会〉

平成十六年度

の当会は、初の試みとして母校の室内楽班を七月四日の総会に招きま

盛大な七夕会

〈長野支部〉

総会(七夕会)は、七月七日、長野市内サンパルテ山王で開催

された。大勢の会員が固唾を飲んで見守る中、バイオリン、ピアノ、チェロ、コントラバス等々の楽器を擁した三十五人の男女生徒が、指揮者のタクト一閃と共に演奏を開始した瞬間、会場全体に「一種の衝撃」が走りま

した。会員にとり、孫、子供、弟あるいは妹にも相当する年齢のしかも中には入学以来初めて楽器に接する者がいるという生徒たちが、「ひたむき」に演奏するクラシック音楽と校歌に、その衝撃は「感動」に変わり全員が酔いしれました。

生徒の皆さん、顧問の土屋、指揮の長谷川両先生に対し、ここに改めて感謝の念をお伝えし

談論風発!支部会合

〈北海道支部〉

北海道支部は、会員名簿上

連絡待っています

〈仙台支部〉

医学関係者が大勢います。宮城県ガンセンター病理部長立野氏(61期)、東北大脳外科講師池田氏(70期)、仙台市宮城野区保健所長森泉氏(72期)、前山氏(65期)は外科医で活躍中です。

また、小林氏(63期)は東北電力常務取締役、桐山氏(59期)は相田化学工業取締役で昨年着任。仙台の方 fuchiya@openp.jp まで連絡を。

新緑の高野山参詣

〈関西同窓会〉

関西同窓会再発足十五年記念の春の文化ハイクは世界遺産の聖地新緑の高野山に参詣。五百年も前から佐久・上小の豪族郎等が泊まり、関が原後は真田父子が寓居した「蓮華定院」に一泊しました。

添田住職は青木矩彦先生(54期)と京大哲学の同級で、特別に東信濃との古くからの関わりを話して下さいました。

金子氏、「そば」講演

〈中南信支部〉

発足から十二年を迎えました。小粒で地味ではありますが

女子同窓生の集い

第十回女子同窓生の集いが

去る七月九日(土)午後一時半より同窓会館で開かれました。今回は「キムの十字架」などで知られる長野市在住の童話作家和田登さんの講演をお聞きしました。当日は松尾祭の最中ということもあり、一般

母校の状況

(平成17年6月1日現在)

[生徒数]	全 日 制				定 時 制					
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	4年	計	
学 年	9	9	9	27	1	1	1	1	4	
クラス数	9	9	9	27	1	1	1	1	4	
生徒数	男	191	195	185	571	15	11	10	13	49
	女	171	169	176	516	17	14	13	8	52
計	362	364	361	1087	32	25	23	21	101	

生徒数 全・定時計 1,188人(男620人、女568人)
 教諭・講師 80人 事務職員 5人 助手・校用技師 5人
 定時制教頭 日野 清勝 全日制教頭 若林 昌二
 事務 吉原 清和 事務 長 氏井 広人

日時 平成17年9月24日(土) 19:00~
 場所 大正館 えんぎや (三井住友銀行となり) TEL 23-7070
 会費 未定(オーナーの荒川義富氏のご好意により飲み放題、食べ放題、騒ぎ放題??)

★会員大会に引き続き
 同期会を開催します。

※お問い合わせは左記の各クラス代表までお願いします。

75期(昭52年卒)のみなさんへ

本年は会員大会の当番期です。多数のご出席をお願いします。

クラス代表

- | | |
|----------------|----------------|
| 1組 小宮山陽一、山際 規恭 | 5組 滝沢 正幸、土屋 俊彦 |
| 2組 金井 幹夫、神崎 久 | 6組 斉藤 栄嗣、竹内 明 |
| 3組 土井 恭也、柳原 年希 | 7組 小林 逸元、中村 康宏 |
| 4組 荒川 義富、荻久保常顕 | 8組 川口 剛、手塚 明 |

答辞に拍手

「四年前、うつむきながらくぐった正門を今日は顔を上げ、自信を持って、四年間がぎっしり詰まった卒業証書をしっかりと手にして、胸を張って出て行くことができま

す。」今年の卒業式での定時制卒業生代表の、この答辞に保護者・生徒から図らずも拍手がおこった。



上田高校の定時制は、ここ数年入学希望者が定員を大きくオーバーし、定時制ではかなり異色な高校として知れ渡っている。それだけ魅力があるのはなぜか、吉原教頭に聞いた。

(一)従来の定時制の生徒は、仕事をしながら修学するイメージであった。近年、不登校などで仕事は持たずに入学してくる生徒が増えてきた。その動きを数年前から予想

し、先に手を打ってきたこと。(二)教師・保護者・ボランティアの連携による個別サポートである学校生活サポートチームがあること。(三)生徒から教師への評価をオープンにしていることで、生徒と教師が一体になっていること。

(四)ゼロ時間目の時間割設定で三年でも卒業できる仕組みを導入していること。ほかに、工夫した楽しい給食や重点目標の徹底などが、生徒たちに魅力を感じさせているのではないかと、とのことであった。

数年前から、定時制課程としてのあるべき姿を想定し、そのための地道な努力をしてきた。この努力によって、今日の内外から注目を浴びる学校になったのであろう。

卒業式の答辞は、このような雰囲気の中で生まれたのだと、納得した。

土壌がよければ、どんな種でも水をくれて見守ることに、立派に育つ。手間ひま惜しまず、しっかりと土づくりをしている先生がたにエールを送りたい。

新生「上田市」 来年の三月六日誕生

上田市・丸子町・真田町・武石村は、本年二月十八日に合併協議会での協議に基づく二十二項目の内容をまとめた「協定書」に調印し、三月二十四日、長野県庁で田中知事に合併申請を行った。八月には総務大臣の告示で確定する見込み。

新生「上田市」は人口十六万六千人、面積五百五十二平方キロメートルで、長野市、松本市、群馬県とも境を接する。別所温泉郷、鹿教湯温泉郷に加え、菅平高原のある上信越高原国立公園、美ヶ原高原のある八ヶ岳中信高原国立公園が上田市域になり、今後の観光振興に期待が持たれる。

現在四市町村では、新市発足を目指し、市民サービスに直結する電算システムの一元化など準備が本格化されている。この八月十八日には、合併二日前を迎え、節目のイベントも市町村共同企画され、地域住民の交流が深まるように施設見学などのタウンウォッチングも開催される。

合併後に行われる市議会議員選挙は、新市設置の日から五十日以内に行われる。新市議会の議員定数は、三十四人と定められ、初回選挙に限り、上田市、丸子町、真田町を一つの選挙区とする選挙区で定数三十二人、武石村を区域とする選挙区は定数二人とすることも決められている。



契約期間満了

となった。
現在、山頂西側の南斜面に



65期同期会開催

平成 17 年 9 月 24 日(土)
於 上田東急イン 千曲の間(2階)
19:00 ~ 電話 0268-24-0109

同窓会総会当日ですが、総会終了後開催致します。
多くの同期生の参加をお願い致します。
詳細は、個人宛郵送文書をご覧ください。



平成 12 年 9 月同期会開催時撮影 65 名(恩師 6 名)



学有林の美

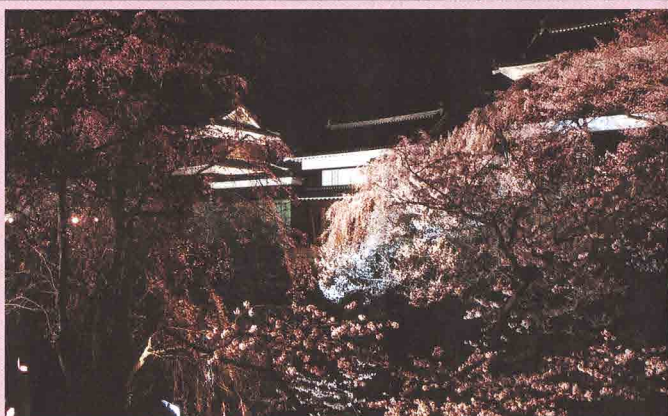
太郎山山頂にある学有林が平成十七年三月末日で六十五年間の部分林契約が満了となり、上田市に返還となった。紀元二六〇〇年記念造林造成のため上田市と上田中学校校友会が昭和十四年六月三十日に契約したものである。戦前・戦中に在学した同窓生にとつては、植栽や手入れなどで忘れられない懐かしい上田橋を渡るとき、カメラを片手に別所線の電車を撮っているマニアを見かけることがある。車からみることはあっても、電車から上田橋をみることはほとんどない。

学有林である。植栽から六十五年が経ち、国内の木材需要の低迷に併せ、十分な手入れも出来なかつたこと、所期の目的を終えたことにより、皆伐しないままでの返還運動が始まった。そんな動きから、昔懐かしい丸窓電車が復活した。鉄道マニアにとつて丸窓は貴重な遺産であり、レトロな別所温泉駅や木製の駅舎などはさらに興味をそそる古き鉄道である。懐かしむだけでなく、地域の大事な文化である電車を一過性ブームに終わらせることなく、地域に根付いた価値ある公共交通機関として残していくことを地元上田市民は考えなくてはいけない。



立看板と学有林全体の地図があり、十ヘクタールの斜面には直径五〜六十センチのカラマツがたくさん聳えている。立看板は太郎山神社から歩いて十分ほどの緑ヶ丘コースの終点の尾根(通称西峠)にある。学有林からの眺めは抜群で、よく晴れた日には遠く富

士山を望むことができ、虚空蔵山に続く縦走コースとしても脚光を浴びつつある。学有林が上田市に返還され



上田公園の千本桜

上田城跡公園で昨年からはまった千本桜キャンペーンは、夜桜をライトアップしたり、ステージイベントがあったりと期間中の観桜の人数は 14 万人を数え、観光バスも 780 台と昨年を大幅に上回った。上田公園も桜の名所として定着しつつあるようだ。53 期では卒業 50 周年記念事業として、故郷上田をいっそう盛り上げようとして、桜の成木九本(各クラス 1 本+定時制)を植樹した。また、ロータリークラブも創立百周年記念に東信第二グループで、櫛下芝生公園に 21 本を寄贈した。

たことから、立看板がその後どうなるのか気になる。元学有林跡等書き加えてそのまま、残していただくことはできないものか。皆さんも、往時をしのび一度登ってみてはいかが。

第二グラウンド全面改修される

上田高校では、上田公園内旧馬場跡地にある第二グラウンド八千八百四十二平方メートルの全面改修工事を行い、このたび整備が完了した。往時の校庭は狭く、野球・ハンドボール・サッカー・テニス等の班の活動が競合し、十分な練習ができず、また、設置規準を下回っていてもいたことから、昭和五十二年三月に第二グラウンドを取得することになった。以後は主にサッカー班の練習に使用されてきた。

このグラウンドでの練習の成果が実り、サッカー班は昭和六十四年一月二日には全国大会出場を果たしている。この数年では、県大会で準決勝、準々決勝までいく活躍をしている。



上田地域には、かつて上田の中心から五本の路線があった。地域に密着した電車であったが、時代が変わり、車中心の生活になり、別所線以外は次々と廃止された。別所線の廃止論議の中で、昨年、上田市の公的支援が決まり地域をあげて「別所線にのろう！」

ムに終わらせることなく、地域に根付いた価値ある公共交通機関として残していくことを地元上田市民は考えなくては

今回の工事では、二千八百万円をかけ暗渠排水工事、客土、整地を行った。客土に際してはOBからの資金援助もあり、運動部OB会の結束の固さがうかがえた。



70期

がんばってます



母校の班活動紹介

剣道班、ソフトテニス班、卓球班、陸上、放送班、現代音楽班、棋道班が全国大会へ出場となりました。昨年を上回る活躍です。ただ出場者は女子が多く、男子の奮起が望まれるところです。

男子排球班

創部六十周年

八月十四日、上田の信州玉姫殿において、創部六十周年記念式典が開催されます。第二次世界大戦終了直後の貧困と失望の中、わが上田高校排球班は誕生し、昭和三十一年のインターハイでは全国三位という歴史に残る輝かしい伝統を築き上げました。

この伝統を引き継ぎ、OB会をはじめ、父母会の皆様方の心温まるご支援を受けながら、現チームも高い目標へ向け、練習に励んでいます。

横断幕に書かれた「勇往邁進」を心に刻み、部員一同精進していきたくと思っています。

◆山岳班
目標はインターハイ

僕達山岳班は、「インターハイ出場」を目標として、毎日放課後にトレーニングをしています。現在、人数が足りない状況で活動していますが、一人一人、とても頑張っています。あまりメジャーな感じの班活ではないし、競技と聞いてもピンとこない人が多いと思います。簡単に言うと、山で

各班の主な成績・戦績 (平成16年夏以降)

Table with 2 columns: 学芸班 (Academic/Art) and 運動班 (Sports). Rows include Chess, English, Music, Calligraphy, Mixed Chorus, Literature, Art, Sports, and various other activities with their respective achievements.

生活をするために必要な技術を競うものです。体力と知識が両方必要なので難しい事も多いですが、みんなで協力してやっています。これからは、まず班員を入れることを目標に、全員で力を合わせて頑張ります。

◆放送班

全国大会で活躍を

放送班は、毎日のお昼の放送を活動の中心として、そのためのアナウンス・朗読の練習を積み重ねています。その成果を試すためのコンテストにおいて、昨年はNHK杯全国高



女子団体県大会優勝の剣道班

朗読部門で念願の最優秀賞を受賞し、十七年七月に青森県で開催された全国総合文化祭に出場しました。今年度はNHK長野県大会

◆書道班

皆が仲よく真剣に

ITの現代にあってもわが書道班は三十三名もの班員がおり、日々手仕事の貴重さを体感しています。時には理科室をお借りしなければ練習できない程盛んで活気あふれる活動をしています。班員が増えたいのは顧問の海沼先生の絶えない笑顔と班員を明るく元気づけてくださる人柄のおかげだと思っています。去年の県展や今年の全国書初展では漢字も仮名も多様な作品が生まれ皆すばらしい成績を収めること

◆軟式野球班

『野球は楽しもうぜ!!』

僕達軟式野球班は『野球は楽しもうぜ!!』というモットーの下、日々練習をしています。活動場所は千曲川河川敷グラウンドです。グラウンド状態をはじめ、練習環境は決して良いとは言えません。これから夏に入り暑くなってくる中、そのような悪環境にも負けず、頑張る練習をして、夏の大会・秋の大会では良い結果を残したいと思っています。

私たちが同窓会活動を応援します。

- 川西木材合資会社
合名会社甲州屋商店
真田やまぎわ薬局
昭和不動産鑑定株式会社
レストラン 膳
和田龍酒造株式会社

同期会だより

〔43期〕

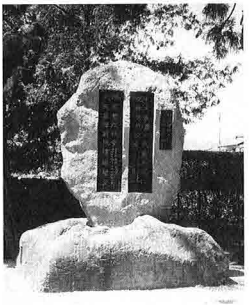
平成十六年十一月、中国寧波市で村上博優氏の「訪中百回・八十歳の長寿を祝う会」が盛大に催され、われわれ同期生十人も参加しました。

上田市神川の龍洞院住職であった村上氏は、二十五年間に百回訪中。仏教と日中関係をテーマに研究を続け、上田市と寧波市の友好都市締結の橋渡し役を果たしました。

それらの功績に対して寧波市の当局や仏教教会・旅行社などが敬意を表し、祝賀会開催となったものです。

これを受けて同期生たちは「われわれも記念碑を建てよう」と一決。目立つことを好まない村上氏からようやく了承をとりつけ、建立委員会を中心に基金を集め、今年三月三十日、龍洞院境内に建立した記念碑の除幕式を行いました。

当日は晴天、村上氏にこやかな顔を前に建立委員長上野寛堂さんが熱の入ったあいさつをしました。



の満足気な顔を見て私も胸を熱くしました。(秋山梨婆男)

〔53期〕

上田松尾高校53期(昭和三十年三月卒)の卒業五十周年記念同期会は、五月二十二日、米国からの参加者を含め百人の参加を得て盛大に開催されました。当日は午後二時に母校の正門前に集合、各クラス毎に記念写真を撮影後、記念行事に参加するため上田城跡駐車場へ移動、全員で集合写真に収まりました。

懇親会は「ささや」。六十一人の満足気な顔を見て私も胸を熱くしました。(秋山梨婆男)

人の物故者に黙祷をささげた後、笠原一洋実行委員長の「統計では、十五年後の参加者は四分の一」という挨拶に、皆、「自分はその中に入らないはず」と盛り上がっていました。(吉村 晴夫)

〔63期〕

我々63期も来年は還暦を迎えます。他人事とばかり思っておりまして自分の身が...

さて、卒業三十周年では母校の図書館に多目的机と椅子を贈りました。これは同期生の工房で創作した立派な作品で、ぜひご覧頂きたいと思えます。折りを見て同期会を開催してきました。いつの頃からか一組からの当番制にし、一昨年は

三組が当番で物故者をしのぶ会を行いました。来年か再来年は、定年退職を祝う大会に開催したいと思っております。(土山 美吉)



73期は平成八年から毎年、同窓会の会員大会に合わせて、

OB会つうしん

◆弓道班 戦前の活動は活発でしたが戦後しばらく中断。昭和三十四年、59・60期有志諸兄により復活創部され、現在に至っています。

OB会は平成六年、60期永井氏、62期松沢氏、73期戸島氏らにより発会し、会員数五百人を超える大組織となっています。毎年八月十四日夕方より現役メンバーの「夜射会」を見た後、同窓会館で現役を含めて総会・懇親会を開催し、旧交を温め現役への激励金贈与などを行っています。夜射会は暗闇の中、三十メートル先のローソクの炎を的とする荘厳な雰囲気射会です。

◆バスケットボール班 OB会創立五十周年記念事業を盛大に挙行して、五年が過ぎました。今も「現役を物心両面から支援する」を合言葉に活動しています。毎年正月二日に開催する定時総会、それに先立って行う現役対OBの懇親試合は、第一体育館が若手OBでふくれあがり、現役とOBが強い絆で結ばれていることを実感できるすばらしいときです。

◆卓球班 OB会も会員数は現在三百人を超え、毎年十月に開催されるOB総会・懇親会には各地より大勢集まり旧交を温めております。恒例の運動部OB連合会ゴルフコンペ(六月・十月の年二回実施)では常に優勝候補として参加し個人・団体戦ともに活躍しています。現役には毎年ボール代を援助しており、定期的な交流も検討中です。

◆体操班 OB会開催 「夢」や「技」の実現のため何千回何万回、繰り返し繰り返し練習を重ね、とことんまで追求を惜しまなかった仲間たち。少しの進歩にも自分のことのように喜び、励まし、助け合った仲間たち。体操班も創部以来五十五年が経過しました。この期に、苦楽を共にした仲間たちと語り合う場を計画いたします。期日は平成十七年九月十七日(土)、会場等については、後日連絡します。(OB会長 新井孝夫)

現役のインターハイ男子選は過日終了し、戦績は男女共二回戦敗退ではありましたが、その戦いぶりは見事でありました。更に精進を重ね、現役とOBが一体となって凱歌の歌える日を待ち望んでいます。(61期 荒井 邦夫)



GO GO かい もうすぐ 55期会 卒業50周年(2007年) 飲んで 語って 上田で、東京で、楽しく賑やかにやっています。 ■上田地区 毎月8日 ささやで ■東京地区 毎月第3水曜日 千草(新宿)で 「忙しいけれども出ようかな!」よりも 「暇だから出ようかな!」が多数派になりました。

同窓会事務局からのお知らせ

● 会員大会の当番期

九月二十四日(土)開催の会員大会(総会)を運営する実行委員会の当番期は次のとおり。
65・70・75・80・85の各期。理事、代議員が担当する。

● 社会講座日程

一昨年より実施し在校生に好評だった社会講座は、今年も行われます。
日程は次のとおり。

一、一年生対象講座

九月十五日(木)

二、二年生対象講座

十一月二十四日(木)

時間はいずれも五・六時限
三、生徒・先生・一般対象講座は日時未定

● 寄贈冊子

★「田中五郎さん(28期)の思い出」
松野洋一氏・故・松野輝彦氏(28期)のご子息

個人情報の取り扱いについて(お願い)

同窓会は、設立の趣旨・目的を達成するために、母校や同窓生対象の事業はもとより、公益を目的とした様々な事業を推進しております。

これらの事業を円滑に推進するため、同窓会では会員の氏名・卒業期・連絡先(住所・電話番号)などの諸情報を使用せざるを得ません。

また、会員の皆さんより毎年最新の情報を提供していただき、精度の高い名簿を維持・管理することも、同窓会の使命のひとつです。

「個人情報保護法」施行にあたり、個人情報の取り扱いには十分注意いたしますので、会員の皆さんには、今後とも深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

★「緑地環境学」
馬場光久氏(85期)

★「気づきの写真術」
石井正彦氏(52期)

★「街路樹デザイン新時代」
渡辺達三氏(60期)

★「ブルー」
田中 渉氏(83期)著

★「通りやんせ通りやんせ」
永井中村 瑞江氏(50期)

★「ロケットを飛ばす」
平田邦夫氏(66期)

★「東山道 信濃路の萬葉集」
有賀 治氏(46期)

★「最新 家庭の医学百科」
英独仏ラ・和 医学用語小辞典」

★「地鳴りする世界 9・11事件をどう捕らえるか」
菊地 博氏(39期)

★「歌集 響の音」
村上勇介氏(80期)

★「荒木豊治氏(35期)の歌集」
荒木豊治氏(35期)

★「上田・東御・小泉の今昔」
山浦哲雄氏(37期)

★「松籟」

★「歌集 あざみ」

★「読書のしおり」

★「教養のための読書」
上田高校生徒会・図書委員会編 坂口浩教諭

★「七夕の紙衣と人形」
石沢誠司氏(60期)

★「二十世紀 日本の名作家 内 父の本棚」
関口悦男氏(55期)

★「上田東高等学校 創立110周年記念誌」

★「よみがえる日本の城14 新発田城 松本城 上田城 他」
成田邦夫氏(56期)

★「写生日和」
米津福一氏(53期)

★「松尾倶楽部」
松尾倶楽部

編集委員(期)

副理事長	小山 正子(57)
委員長	小 山 裕(55)
副委員長	増田 幸一(64)
委員長	池村 修三(67)
副委員長	深町 稔(58)
委員長	塩入 秀敏(63)
副委員長	島田 甲子雄(65)
委員長	市川 泉(69)
副委員長	大橋 俊彦(70)
委員長	小林 高隆(72)
副委員長	小竹 美恵(76)
委員長	小中 紀子(76)
副委員長	倉沢 史子(76)

■平成16年度進路状況(合格者数)

上田高校進路指導室調べ(5月1日現在) ()内は、うち数で過年度卒業生

●国立大学 182 (71)	静 岡 5 (2)	青山学院 13 (6)	東京女子医科 2 (1)
旭川医科 1 (1)	名古屋 2 (1)	学習院 3 (1)	東京電機 9 (5)
北海道 2	愛知教育 1	北 里 9 (6)	東京薬科 10 (9)
秋 田 3 (2)	岐 阜 1 (1)	共立女子 3 (3)	東 邦 12 (11)
東 北 10 (5)	三 重 3 (1)	共立薬科 1 (1)	東 洋 15 (9)
山 形 1 (1)	京 都 4 (3)	慶應義塾 10 (6)	日 本 35 (23)
福 島 2 (2)	大 阪 3 (1)	工業学院 12 (8)	日本獣医畜産 4 (4)
茨 城 5 (1)	大阪外国語 1	國 学 院 6 (4)	日 本 女 子 5 (4)
筑 波 7 (3)	奈良女子 1	国際基督教 4 (2)	法 政 19 (9)
群馬 8 (5)	高 知 1	駒 澤 20 (14)	星 薬 科 2 (2)
埼 玉 2 (1)	九 州 1 (1)	芝浦工業 17 (14)	武 蔵 工 業 12 (10)
千 葉 5 (2)	●公立大学 29 (10)	昭和女子 4 (2)	武 蔵 野 美 術 2 (1)
お茶の水女子 1	国際教養 1	昭和薬科 5 (4)	明 治 37 (20)
電気通信 2 (1)	群馬県立女子 3	上 智 12 (5)	明治学院 9 (5)
東 京 2 (1)	首都大学東京 1 (1)	成 蹊 4 (3)	明治薬科 7 (5)
東京外語 2	横浜国立 4 (3)	成 城 4 (2)	立 教 5 (3)
東京学芸 3 (2)	都留文科 3 (1)	専 修 16 (8)	早 稲 田 29 (21)
東京工業 1 (1)	高崎経済 8 (3)	玉 川 4 (1)	神 奈 川 7 (7)
東京芸術 1 (1)	愛知県立芸術 1 (1)	大 正 4 (2)	新 潟 薬 科 4 (2)
東京農工 3	岐阜薬科 2 (1)	大 東 文 化 4 (2)	金 沢 工 業 3 (1)
横浜国立 5 (2)	●私立大学 690 (405)	中 央 39 (29)	北 陸 山 5 (5)
上越教育 1 (1)	●東北薬科 3 (1)	津 田 塾 8 (2)	南 山 2 (2)
新 潟 13 (5)	国際医療福祉 9 (2)	帝 京 3	同 志 社 11 (8)
富 山 5 (2)	帝京平成 6 (3)	東 海 12 (5)	立 命 館 22 (18)
富山医科薬科 2 (1)	国際医療福祉 9 (2)	東 京 家 政 4 (2)	西 西 3 (1)
金 沢 11 (4)	獨協医科 1 (1)	東 京 経 済 7 (5)	近 畿 3 (2)
山 梨 2 (1)	文 教 9 (3)	東 京 工 芸 5 (3)	その他の私大 92 (24)
信 州 57 (14)	千葉科学 3 (2)	東 京 工 芸 4 (2)	●国立短大 7 (2)
福 井 2 (2)		東 京 女 子 5 (1)	●私立短大 13 (2)
			●各種・専門学校 17 (3)

平成16年度合格状況について
旧課程最後の入試で現役合格志向の高まる中、受験生たちの健闘が目立ちました。国立大学の合格者は現役が130名、総計で211名と、前年を現役45名、総計で51名上回りました。中でも信大の57名(現43は近年なかった数字です。旧帝大に一橋・東工大を加えたいわゆる難関国立大には25名(現12)が合格、こちらも昨年より8名合格しています。(進路室)

(現5)増です。最難関の国立医学科は9名(現3)で、うち1名は信大に新設された「県民枠」で選ばれた生徒です。東京芸大の美術にも久しぶりの合格者が出ています(昨年は音楽)。また、相変わらず薬学部の人気が高い中、国公立の金沢大・富山医科薬科大・岐阜薬科大のほか、私立の東京薬科・明治薬科・昭和薬科・京薬科・浪人生中心に多くが合格しています。

青春回帰の会

卒業しアツという間の40余年、耳順を機に60期合同の同窓会を昨年5月に実施した。160余名が上田温泉に集まり、県内在住の恩師にも御出席頂いた。会場に入った途端、皆少年時代に戻り、オー久しぶり!「やー元気だったか!と顔をクシャクシャにして久方の邂逅を喜び合った。物故した同期の友への黙祷の後、校歌斉唱、続く応援歌、凱歌では多くの友たちが涙を流しながら殆ど怒鳴る様に歌った。白髪かハゲになってしまった旧紅顔の美少年達は互いにシワの中に昔の面影を見つけ合っの大騒ぎ。夜明けまで寝るのも忘れて語り、泣き、笑い合い部屋割りも何のその、そのままイオヤジ達は満ち足りた顔でゴ口寝。翌朝再会を期して夫々ゴルフ、松代散策、実家訪問などへと散ったのでした。

来年5月、また集う計画中。

皆の心に沢山の良き思い出を刻んだ我が母校よ、永遠なれ!

60期同期会 実行委員長 川上 知行